

Sky-front Garden

もっと身近に、屋上ガーデン



↑ 伊勢丹本店本館屋上にある「アイ・ガーデン」

二〇〇八年八月発行

第十五号

大好き

みどり

やっぱり

都会に作られる、新たな「大地」！？

都市の緑化において一番大きな悩みは、植物を植える「表土」のある空間が少ないこと。緑を増やすためには、プランターによる緑化が中心となっています。そんな中、ビルの屋上に軽量の土を入れ、新たな「大地」を創出することによって緑化を行う「屋上緑化」が新たな局面を見せています。

一時期、都の条例で屋上等緑化が義務化されたところには大きな話題となった屋上緑化ですが、最近では、企業の社会責任としての環境貢献の一環として、また、来場者に安らぎの空間を提供するサービスの一環として、屋上ガーデンを整備するデパートやショッピングセンターが増えています。伊勢丹本店や新宿高島屋の屋上やテラスにあるガーデンは、デザインや植物選びのセンスもよく、心地よい空間が広がっています。



↑ あの「伊勢丹」マークが目の前に！



↑ 御園中学校屋上菜園
← 収穫した野菜

学校の屋上にも出現！

大田区では、区立中学校の屋上を活用した「屋上緑化」を進めています。すでに区内8校の屋上に、ガーデンが設置されました。学校の屋上というと、夏休みなどの水やりが大変！とってしまいますが、土が乾いたことをセンサーが感じ取ると水が出る、といった自動灌水システムになっています。

学校によっては草むしりをした後に屋上で給食を食べるなど、屋上ガーデンに生徒が親しむための機会を積極的に作っているところもあります。また、御園中学校では、心の悩みを抱える生徒が通う相談学級の農園として活用しており、生徒たちが野菜の栽培を通して生きる活力を得ているようです。

街のど真ん中に「森」を作ることができるかも…

右の写真中央に見えるのは、大阪難波の街なかにできた「なんばパークス」というショッピングセンター。フロアごとに段々になっていて、そのテラス部分には、多くの樹木を含む植栽が充実しており、これらの樹木が大きく成長した時には、この交差点の奥には小さいながらも「森」が見える…そんな風景になるのではないかな、と想像でき、数年後に訪れるのをひそかに楽しみにしています。

魅力的な緑のある空間は、それを目当てに多くの人々が訪れます。実際になんばパークスでは、早春のまだ寒い時期に訪れたにも関わらず、テラスガーデンでは多くの人々が語らっている風景を見かけました。積極的に緑を取り入れる商業施設が増えることで、多くの人々が緑に憩い、環境にも貢献できる、そんな屋上ガーデンが増えていくことを楽しみにしています。



↑ 大阪は難波にある複合施設「なんばパークス」



夏限定「みどりの実験室」登場！

やっぱりみどり大好き 13 号で、「緑のカーテン」の特集を組みました。今年は様々なメディアで大々的に取り上げられているのを見かけましたし、大田区でも、4 月に区民対象の講習会を行うなど、「緑のカーテン」大ブレイク！の一年となっています。当会では、「緑のカーテン」の効果を実際に体感できるものを作って、多くの人に緑のチカラを実感してもらいたい！」と、大森西にあります区民活動支援施設「こらぼ大森」のグラウンドに、NPO 法人大森コラボレーションの皆さまの協力を得て「みどりの実験室」を作りました。「こらぼ大森」はもともと小学校だったことから、グラウンドには遊具が残されています。そのひとつである「のぼり棒」にネットをかぶせて足元にプランターを置き、そこにヘチマ、ゴーヤ、ヒョウタン、アサガオの苗を植えました。

実はちょっと遅いスタートでしたので、うまく育つか心配だったのですが、たった 1 ヶ月で上り棒の上部にまでツルが伸び、2 か月経ったころには、右の写真のように、ほぼ全面を緑が覆う「緑のドーム」が出来ました。ヘチマはツルの伸びるスピードは断然速いけれど、葉が大きくてちょっとグロテスク。おまけになぜか実がなかなかつきませんでした。ゴーヤは葉の形もかわいくて、実もどんどんって、見ても食べても楽しいカーテンということも実感しました。実際にカーテンの涼しさを体感しよう！というイベントを行った日は、あいにくの悪天候で残念でしたが、ゴーヤの試食タイムは大変盛り上がり、来年はこらぼ大森の周辺に、緑のカーテンが広がるのが期待できそうです。

この実験室、大変好評でしたので、ぜひ来年も実現したいと思います。なお、今回の実験室の成長の様子は、当会のブログにてご覧いただけます。



↑「緑のカーテン体感イベント」のようす。あいにく違いが出ない天候の中でしたが試食は盛り上がりしました。

↑ 苗を植えて 2 か月で天井を覆ってくれるまでに成長しました。



← 6 月末、ようやくネットを張って苗を植えました。ちゃんと育ってくれるかドキドキでした。

E 加減 de エコライフ



◆ 見つけてうれしい、食べておいしい
どんぐりの季節だよ！…

真夏の暑い時期にみどりの葉を生い茂らせ、わたしたちには木陰を提供してくれていた木々。着々と花をつけ実をならせる養分を蓄えてきました。

秋の訪れとともに木の実(どんぐり)をつけた木々は子どもたちをワクワクさせてくれます。木登りをして食べたり、落ちていどんぐりをポケット一杯にして持ち帰りコマを作ったり、どんぐりの中から幼虫が顔をだしてびっくりしたり…大人たちにとっても、どんぐりを見ると懐かしい記憶が蘇ってきます。

◆ どんぐりを食べてみよう…縄文時代の日本人の主食のひとつが、「どんぐり」だったのだそうです。中でも、スダジイはそのままおいしく食べられます。スダジイは殻斗(かくと)が実の全体を覆うようになっていて普通のどんぐりとすぐに見分けがつけます。



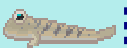
↑ スダジイの実

殻をむいて、そのまま白い実を食べても、ほんのり甘い味がしますが、生食に抵抗感のある方は、フライパンで 2～3 分、軽く炒ることで、香ばしいナッツのような味になります。ただし、炒りすぎると、堅くなるので要注意です。

探検！発見！耳寄りみどり



大森ふるさとの浜辺公園



大森ふるさとの浜辺公園は、面積約 19ha で、大田区で一番大きな公園です。この土地は、内川河口の埋立地を利用し、約 6 年の建設期間を経て、平成 19 年 4 月に開園しました。

この公園は、小豆島から運ばれた白砂による人工の浜辺と人工の干潟を持ち、隣接する大森海苔のふるさと館も注目を集めています。この海が、かつては浅草海苔の生産地だったことから、郷土の歴史を子どもたちに伝えるための「海苔作り」にも取り組んでいます。また、この公園ができたことにより、平和島公園～平和の森公園とを合わせると総面積 36ha に達し、都内でも指折りの緑地となっています。

当会では、20 年春には区内企業の寄贈による樹木 50 本を植樹し、今年度も継続して行う計画です。将来的には、埋立地海岸線に連続した緑地森林帯になるようにと願い、活動を続けていきます。(上田志朗)

【交通アクセス】

京浜急行平和島駅
から徒歩 15 分
大森町駅から徒歩
12 分



(提供：NPO 法人おおた市民活動推進機構)

四季の庭から



春の庭を想像しながら、楽しい球根選び。

秋植え球根

チューリップ、スイセン、ムスカリ、クロッカス、ヒヤシンス、ユリ、アネモネ、フリージアなど



左：スイセン



中：平板の脇に配置されたムスカリ



右：八重のチューリップはとっても華やか

植え方・育て方の楽しみ

【球根の選び方】持った時に重量感があり、肌のきれいなものが◎

【植え方】

◆花壇に植える場合…列植えより部分植えでもまとめ植え(密植)が映える。
他の草花を植栽する時に、同時に植え込むと、後になってのお楽しみとなる。

ポリポットで芽出し球根を作って、適期に植付ける方法もある。例えばハウステンボス等の観光ガーデンでは、この方法で2ヶ月ほどの間に数回の植替えをする。(低温に当てて花期調整も行う)。植付けの深さは球根の高さの2～3倍が基本。

◆コンテナ(容器)に植える場合…出来るだけ密植にする(球根1個分位の間隔をあけると、ボリューム感が出る。植付けの深さは浅目(球根の頭が見えてもよい))

◆球根の寄せ植え例

- (1)チューリップ(薄ピンクフリンジ咲き)15球＋ムスカリ(薄紫)30球
- (2)スイセン(純白・小輪)15球＋タマリユウ8株

(川口 良夫)

球根類は春の草花、ワスレナグサ・ビオラなどとの相性も抜群で、必ず期待に応えてくれます。球根の価格はチューリップで一球20円から100円位まで様々です。雑誌や実際のガーデンを参考に、是非素敵な花を咲かせてください。

植付けの適期は10月～11月中です。年内いっぱいであれば植えられますし、遅く植えても咲く時期は同じです。

球根類は「花が終わった後、掘り上げて乾燥させて保存すると来年も植えられる」と園芸書に書かれていますが、きれいな花を咲かせることを考えると、一部(スイセン、ムスカリ、クロッカスなど)を除いては、新しい球根を買い求めるほうが確実です。もったいないようですが球根類は「消耗品」と考えましょう。

花とみどりの お気に入り♪

Book



虫といっしょに庭づくり
曳地トシ・曳地義治著
築地書館
2,200円(税別)

著者は夫婦で個人のお庭を対象に、農薬を使わない病害虫対策を実践している植木屋さん。この本は植物と昆虫たちの写真が豊富で、無農薬ガーデンを実践したい人への具体的な手引きになります。「オーガニックな庭とは、一匹の虫も許さないという考え方ではなく、害虫も含めていろいろな生き物と植物との共生をめざす庭ということ」「地球上の全生物の7割以上は昆虫」「無農薬で庭づくりをするには、虫のことを知ることが一番の近道。とにかく良く観察すること」といったひとつひとつの言葉に、庭とそこに暮らす人への愛情と、説得力を感じる一冊です。

Shop



EARTH

大田区山王 2-11-6
Tel 3774-3986



大森駅西口を出て信号を渡り、目の前にある階段を上りきると、そこは閑静な住宅街。左側の塀が切れた先に見える建物の1階に、今回紹介するお店「EARTH」があります。「マミフラワーデザインスクール」のエントランスにあり、スクール生の憩いの場にもなるスペースには、植物素材を使ったクラフト作品が多数展示されていて、見るだけでも楽しい空間です。花に親しむための書籍やクラフトの材料も揃っています。芸術の秋、ちょっと刺激を受けたい気分になったら、ぜひ行ってみたい。(写真撮影に行った日は、多肉植物の寄せ植えが並んでいました)

秋の 活動予定



昨年のエコフェスタワンダーランドのようす。昨年は、玉ねぎの皮で草木染め体験を行い、大好評でした。

◆9/24 (水) 園芸セラピー講座 (会場：大田区民センター3階)

13:00～15:00 園芸セラピーの第一人者、澤田みどり氏による講演と楽しい実習。

◆10/4 (土)～5 (日) 生活展 2008 (会場：大田区生活センター)

秋植えの球根と鉢花、園芸グッズなど、ガーデニングの楽しみを広げるための提案販売を行う予定です。

◆10/17 (金)～18 (土) あきない観光展 (会場：大田区産業会館 Pio)

今年初めてのイベントに出展します。当会で育てた花苗も販売します。

◆10/26 (日) 田園調布グリーンフェスタ (会場：田園調布せせらぎ公園)

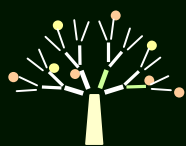
当公園における、園芸セミナーや山野草育成など、当会の活動についてPRします。

◆11/8 (土)～9 (日) OTA ふれあいフェスタ (会場：平和の森公園)

平和の森公園噴水近くのテントで、会員の育てた花苗の販売などを行います。

◆11/30 (日) エコフェスタ ワンダーランド (会場：萩中小学校)

緑に親しむための楽しいプログラムを計画中です。



About us・・・わたしたちについて・・・

大田・花とみどりのまちづくりの活動マップ

このマップの場所以外でも
◎保育園、児童館の花壇作り
◎特養の樹木の剪定
◎個人のお庭の手入れ
◎各種セミナー、イベント協力
◎学校の授業への協力
など幅広く活動しています

田園調布せせらぎ公園

・「花とみどりのつどい」を毎月第一日曜の13時～15時開催。花やみどりが大好きな人々の交流の場となっています。また毎月第三日曜に山野草育成活動もしています。

区民プラザ前プランター

・管理活動：毎週木曜9時～四季折々、きれいな花を楽しめるように心がけています。

南久が原圃場

・管理活動：毎月第2・4金曜10時～12時
・地域に植えるための花苗を育てる活動もしています。

大森駅前花壇

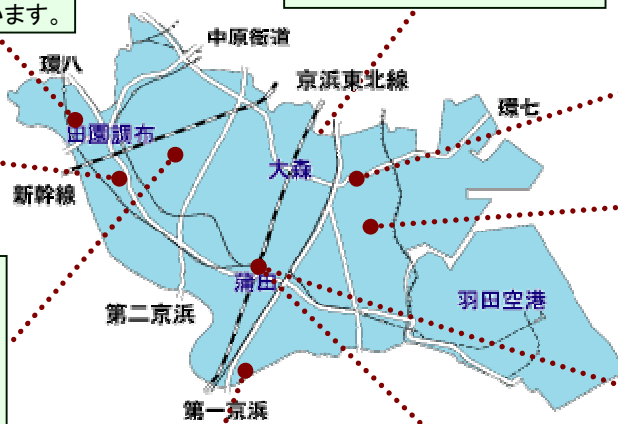
・管理活動：毎週火曜日
冬季：10時～(夏季：9時～)
・駅前だけでなく、バス通りや商店街にも花壇があります。

平和の森公園

・「街山プロジェクト」として、年間を通じて様々な活動をしています。観察会や勉強会も随時行っています。

大森南圃場

・管理活動：毎週水・金曜日9:00～16:00
・保育園児のお散歩コースや地域の方たちの学びの場にもなっています。



六郷土手花壇

・管理活動：毎月最終日曜日10時～12時
・近隣町会の皆さんにもご協力をいただいています。

区役所本庁舎前プランター

・管理活動：蒲田駅前花壇の管理作業の後に実施
・区の玄関なので、常にきれいにと、張り切っています。

蒲田駅前花壇

・管理活動：毎週火曜日9時～
・駅前だけでなく、西口、東口のバス通りの花壇も管理しています。

お問合せは気軽に
03-3734-7932 まで

会員募集中！

大田区内のあらゆるところで活動しています。花やみどりに直接触れる活動はもちろん、みどりの活動を縁の下でサポートする事務作業や、運搬のための車の運転など、さまざまな活動があります。

特に運転手を大募集中！！

あなたもぜひ、参加してみませんか？体験入会も歓迎です。お問合せは右記事務局まで。⇒入会案内と最新の会員だよりをお届けします。

編集 後記

当会では最近、ブログによる情報発信にも力を入れています。活動レポートや、区内で見つけた素敵な緑の紹介を随時、写真とともにアップしています。園芸の楽しみは、もちろん土に触れることですが、インターネットで楽しめる園芸も探求中です。(F)

URL・・・<http://blog.canpan.info/npogc/>

発行：NPO法人 大田・花とみどりのまちづくり

〒144-0051 大田区西蒲田 7-24-7-203

tel & fax : 03-3734-7932

E-mail : npogc@yahoo.co.jp